

シンボルロードをウォーキング

5月18日、シンボルロードを歩いて、朝ごはんを食べる「朝ごはんツアー」が行われました。5丁目(村上武土区長)が企画し、区民など16人が参加しました。ツアーは、5丁目公民館を出発し、シンボルロード沿いのモニュメントの説明を村上区長から聞きながら歩きました。参加者は、ゴールとなった、おふくろの店で朝ごはんを食べ、早朝の街なかを満喫しました。



村上区長の説明を聞く参加者



5月は、町政報告が山本町長から行われた

34年目のファーストコンサート

5月25日、結成34年目を迎えた町民コーラス「アーベント・レーテ」が、初めてのコンサートをクレインパレスで開催しました。

初コンサートに集まった約50人の観客を前に、指揮の田浦康宏さん、ピアノの岩永純子さん、50~70代の14人の団員が「世界の歌」「日本の歌」「テノール独唱」「ふるさとの歌」の4ステージで、「ふるさと賛歌・かみましき」や「なつかしき御船川」など16曲を披露しました。

代表の福永悦さんは「団員の高齢化で、これが最初で最後のコンサートになるかもしれないと思い開催した。みんなと一緒に歌えるうちに思い出のコンサートができてよかった。今回のコンサートでは、観客の皆さんから、たくさんの元気をもらった。今後も、御船ゆかりの歌などを子どもたちに伝えていけたらと思う」と笑顔で話しました。

初コンサートの最後は、団員と観客と一緒に「今日の日さようなら」や「ふるさと」を合唱しました。

生涯学習教室開校式

5月21日、公民館上野分館(河部二男分館長)が主催する、生涯学習教室の開校式が上野公民館で開催され約40人が参加しました。生涯学習教室は、上野地区の住民を対象に20年以上続けられており、毎月、短歌教室やグラウンドゴルフなど様々な教室が開催されています。河部分館長は「毎月の教室を考えるのは大変だが、参加者が楽しみにしているので、これからも楽しい教室を続けていきたい」と話しました。



【町民コーラス アーベント・レーテ】

34年前に、子どもから大人まで参加できる町民合唱団として、当時の御船高校に在任していた、山口教諭の発案で結成される。結成当時は、御船高校コーラス部と一緒に約40人で活動し、県合唱祭や町文化祭などに出演していた。アーベント・レーテの由来は、明るい未来をイメージして、ドイツ語で「夕焼け」の意味。

団員を募集しています

毎週火曜日(月4回)、教育会館(滝川)で19時~21時に練習を行っています。

☎282-0217(福永まで)

年に一度の放流

5月11日、七滝ふるさと滝まつり(七滝観光推進委員会主催)が開催されました。今年で26回目。

七滝は、上流にある水力発電所への取水で普段は水が流れていませんが、まつりに合わせて、1年に1度、5月の第2日曜日だけ放流が行われます。

今年は、約100人の見物客が滝つぼに集まり、落差約40mから豪快に水が流れる光景に圧巻されていました。まつりの会場となった、七滝神社駐車場では、太鼓や演奏会などの催しや、町のマスコットキャラクター「ふねまる」も駆けつけて、終日賑わっていました。

昨年から滝まつりに訪れているという、熊本市在住の倉岡和代さんは「昨年は、放流の終わり間際に来たので、今年は絶対に最初に放流されるのを見ようと思っていました。実際に見てとても感動しました」と話しました。

阿部功龍会長は「今年は出品物や企画も増えて楽しんでもらえたと思います。これからも、滝まつりを盛り上げていきたいです」と笑顔で話しました。



町内の施設にきれいな花を

5月12日、JAかみましき女性部育苗部会(野口英子部長)から、施設的环境美化などに役立ててもらうため、町内小中学校や保育園など15施設に、サルビアや水前寺菜などの花や野菜の苗約6,000本を贈りました。今年で15回目。6月3日には、御船小学校2年生が、野口部長に直接お礼の手紙を渡しました。「毎年お礼の手紙を貰っていたが、初めて手渡しで貰いました。とてもうれしかったです。来年も頑張って苗を作ります」と嬉しそうに話しました。



贈られた苗について勉強する児童たち



水越地域活性化協議会・加工生産部のメンバー

地域が望んだ加工所が完成

5月15日、水越社会教育センター(旧水越小学校)で、食品加工所の開所式が行われました。この加工所は、水越地域の住民で組織する水越地域活性化協議会が、町から施設の一部を借りて運営するもので、今後は水越の農産物を利用してイベント時の弁当や地元向けの配食サービスを行う予定です。田上一也会長は「これからいかに活用していくかが大事。いずれは水越地域だけでなく、ほかの山間地域と合同で町おこしをしていきたい」と話しました。